

AKATSUKI GAKUEN

Newsletter

暁学園報

vol.255

Winter 2023

冬号

中高 今年度から4年生で

「起業家精神教育」
スタート



四日市大学

「大学・高専機能強化支援事業」に採択

高校 体操部 岡村真さん

アジア大会金メダル

アントレプレナーシップを 身につけよう

喜
岡
涉

暁学園理事長



アントレプレナー(起業家)は新しい事業や企業を立ち上げる人であり、アントレプレナーシップ(起業家精神)はそのために必要とされる姿勢や常識にとらわれない自由な発想、能力を総称したものとされています。すなわち、新たなビジネスチャンスを見つけ、リスクを恐れず革新的なアイディアと行動力で成果を追求する積極的な姿勢や能力を意味します。広く解釈すると「急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出していく精神」と言えますので、アントレプレナーシップは新規事業を立ち上げるベンチャー企業だけに求められるものではなく、大企業などの組織の中で活躍する社会人やこれから社会に出る学生にとっても必要な資質とされています。

日本は諸外国に比べて起業に関する関心が低く、アントレプレナーシップに関する指標が極めて低い国で、これまで学校教育でもアントレプレナーシップ教育をあまり熱心に行ってきませんでした。この起業に関する無関心の度合いは国際競争力の低下に直結しています。国際競争力の低下に歯止めをかけ、今の生活水準を維持するためには、起業家精神を發揮して何かしらの新しい価値、将来のスタートアップを生み出すことが強く求められています。

起業家精神を養うアントレプレナーシップ教育の取り組みは、いま中部地方の大学でも広がっています。名古屋大学は本年度からアントレプレナーシップ教育の授業を全学部の1年生で必修科目とし、この教育を担うディープテック・シリアルイノベーションセンターを同時に発足させました。四日市大学においても総合政策学科でアントレプレナーシップ論が2年次に開講予定です。大学教育における起業家教育の重要性については、昨年の東京大学学部入学式での総長式辞においても大半の時間を割いて説明されています。

大学教育では、ディープテックと呼ばれる高い問題解決力を秘めた科学的な発見や革新的な技術を実社会に展開することによりイノベーションを創出するプロセスを取り扱ったものが中心となっていますが、アントレプレナーシップ教育の本質は理系文系の区別なく創造的思考力と論理的思考力を育成することにあります。ディープテックは大学で学びますが、中学や高校の段階から問題発見解決能力を養い、リーダーシップや創造性・論理性を早くから身につけておけば、起業家になるかどうかにかかわらず、学び続ける力、新たな価値を創造する力、対立やジレンマを克服し責任ある行動をとる力という人生を主体的に生きるために必要な能力を習得することになります。

考えるということ

小川
束
教育
研究
セン
タ
ー長



江戸時代の建部賢弘(たけべかたひろ)は1722年(享保7年)に『綴術算経』(てつじゅつさんけい)という数学の本を書いて、ときの8代将軍徳川吉宗に献上しました。この本の序文につぎのような言葉があります(現代日本語に訳しておきます)。

一度探って術理が会得できなければ二度探ります。二度で会得できなければ三度探ります。このようにすれば、たとえ術理が深く隠れているとしても、何度も探る内には機が熟して、必ず術理を会得できます。

「術理」の「術」は方法、「理」は物事の道理、すじみち、条理の理ですから、「術理」は「道理にかなった解法」ということです。どんな問題でも一度考えてわからなかったらもう一度いろいろな方面から考える。二度考えてわからなかったら、再びいろいろな方面から考える。こうして考える努力を繰り返していくければ機が熟して必ず理解できるというのです。

『綴術算経』には43桁の円周率など高度な数学も書かれているのですが、将軍吉宗のために随所にコメントが付されていて、難しい数学は理解できなくとも数学とはどういうものかイメージがわかるようになっています。建部は吉宗のそばに仕えていたので、将軍に数学というものをぜひ知ってほしいと思って書いたのでしょう。

さて、数学が苦手な生徒の多くは「解けることは解けるけれど何をやっているのかわからない」と感じています。これはどこの学校でも(実はどの国でも)同じです。最初につまずいたときに深く考えることをせずに、解きかただけ覚えようとすると、いつの間にかそういうことが重なって「何をしているのかわからない」ということになるのです。とこどん考えるということは本当に大事ですが、忍耐力も必要ですし、なかなか難しいことです。また教える側からしても、たくさんの指導内容があってなかなか時間が取れないのが授業の現状です。しかし「考える」ということを教えるのは教師の使命に違いありません。

もちろんこれは数学に限らずどの教科でも同じでしょう。生徒には各教科や学校生活を通して多種多様な「考える力」を身につけて社会に大きく羽ばたいてもらいたいものです。

建部は「何度も探る内には機が熟して、必ず術理を会得できます」と言います。これ以上の励ましの言葉があるでしょうか。



岡村 真さん（暁高校3年生）

アジア大会 種目別団体、個人総合の銀

岡村真さんは、7歳のころから相好体操クラブで体操を始めました。体操を始めた頃から夢は変わらずオリンピックで金メダルを取ること。厳しい練習の中でも、新しい技を習得することの喜びや、大会で演技が成功した時に感じる達成感に魅了され、練習に打ち込み続けることができたそうです。

小学4年生で初めて手にした県外大会での銀メダルは、とても嬉しかった思い出とともに今も大切に取ってあるそうです。2年後、小学6年生で迎えたU-12では個人総合優勝を目指しながらも段違い平行棒でミスが出来てしまい、タイトルを逃してしまいました。今もその悔しさは残っているそうですが、これもより厳しい練習に取り組むための原動力になっています。中学2年生の時に全国中学校体操競技選手権大会の個人総合で準優勝、平均台で優勝した経験があり、早くから才能を開花させてきました。

2021年4月に暁高等学校に入学して、1年生の時から団体メンバーに入り、全国高校総体では団体3位、個人総合では6位、段違い平行棒5位、ゆか3位、平均台5位の成績を取りました。2年生の全国高校総体では、団体総合4位、個人総合3位、種目別ではゆか2位、段違い平行棒3位、国民体育大会では、少年女子三重県チーム4位の成績を取りました。また、NHK杯体操女子で個人総合11位になり、2022年の日本強化指定選手にあたる「ナショナル選手」に選ばれ、ワールドカップへの出場権を得て、2023年2月



平均台で日本勢初の金! に続き3つ目のメダル。

に行われた「第46回コトブス国際〔体操種目別ワールドカップ〕」女子種目別平均台にて優勝しました。

3年生の5月に開催された第62回NHK杯体操競技大会では、個人総合で7位に入賞しました。今年9月に開催された第19回アジア競技大会(杭州)では、団体総合と個人総合で銀メダル、種目別平均台で金メダルを獲得しました。個人総合では日本人の過去最高位を記録し、平均台ではこの種初の金メダルを獲得しました。

学校生活ではナショナル合宿や国際大会などがあるため学校に来る日も限定される中、勉学にも一生懸命努力して、素晴らしい学業成績を修めています。1年生の時は、コロナ禍によって多くの試合が無くなってしまい、モチベーションのコントロールが難しかった反面、時間が確保できたことで自身の武器を丁寧に磨くことができた結果、2年生以降の活躍に繋げられたそうです。現在は学校生活と両立させながら、2024年のパリオリンピック、2028年のロサンゼルスオリンピックに向けて、鍛錬の日々を過ごしています。その後のことはあまり考えていませんが、お菓子作りが趣味なので、製菓の仕事に就いてみたいそうです。



MENTORS



さかもと そうこ
坂本 蒼子氏

Profile

2004年 晓小学校入学
2010年 晓中学校・高等学校入学
2016年 大阪大学外国語学部英語専攻入学
言語学や英米文学を中心に研究しながら、体育会フィールドホッケー部マネージャーとして活動。
2018年 SOMPO CUP 女子ホッケー4ヶ国いばらき国際大会にはリエゾンとして参加。
2019年 フィンランドへ留学し教育学を中心学ぶ。帰国後は、米文学における教育論を中心に研究。就職活動経験を活かしてキャリアNPO法人en-courageで後輩のキャリア支援を行う。
2021年 楽天モバイル株式会社入社
楽天モバイル株式会社に出向、名古屋支社に拠点を置き、東海地方の基地局設置推進業務に携わる。期間限定で名古屋市内の楽天Pay設置推進業務と兼務。
2023年 トラベル事業へ異動。本社に拠点を移し、東京都内施設のコンサルタントとして働く。

はじめに

暁中学・高等学校を卒業してもうすぐ8年が経ちます。まだまだ社会人としては半人前ですが、モバイル、コード決済、トラベルなどの事業に携わり、少しずつ成長しています。英語を公用語とした会社に入社したということもあり、様々なバックグラウンドをもつ人が働いていて、たくさん刺激をもらう日々を送っています。私のこれまでを振り返ると、「英語」が様々なシーンにおけるカギであり、今の会社を選んだ理由の一つでもあります。今回はきっかけを与えてくれた学生時代を中心にお話します。皆さんのに何か繋がることがあれば幸いです。

異文化との出会い（小学校）

私が英語に初めてふれたのは暁小学校の授業です。低学年は週2回のネイティブスピーカーを交えた授業があり、小3の時は文化祭で英語劇を行いました。ゲーム感覚で新しい言語を学ぶというスタイルの授業が楽しく、高学年になると、洋楽や外国のドラマシリーズなどに興味をもちました。「何て言っているんだろう」「分かるようになりたい」、そう思い始めました。

基盤形成（中学校）

当時持っていた音楽機器に洋楽の曲をダウンロードし、歌詞カードを見て「この表現はどういう意味だろう」と、よく見比べて調べたものです。学校では本格的に文法の勉強が始まりましたが、周囲のレベルは高く、私は後れを取らないようにと必死でした。新しい知識が増えて、勉強の結果も始めたことで、いつしか得意科目となっていました。

そして中3でのオーストラリア短期留学は、拙い英語でコミュニケーションをとりながら毎日楽しく過ごしたもの、帰国後、もっとできるようになりたいと更に頑張る動機となりました。

実践経験（高校）

高1でのニュージーランド短期留学、英語ディベート、英検と挑戦続きでした。夏休みの短期留学から帰国後は有志で取り組んでいた英語ディベートの活動が本格化しました。残念ながら地区大会で敗退、

MENTOR（メンター）とは、「良き師・助言者」を意味します。今号は、暁中学校・高等学校卒業生で、楽天グループにおいてコンサルタントとして働く坂本蒼子氏からの寄稿です。

英語力だけでは通用しないことが悔しくて涙を流しました。その後準備はもちろん、県外で他校との練習も重ね、翌年に全国大会出場を決めました。大会ではレベルの高い同年代に圧倒されましたが刺激になりました。力試しとして中3から英検を受けていましたが、英語ディベート引退後は受験を見据えて高2で準1級を取得し自信に繋がりました。

英語は手段(大学)

勉強、課外活動、アルバイトと忙しくも充実した日々でした。体育会フィールドホッケー部のマネージャーでしたが、縁あって日本で開催された世界大会のリエゾンを務めました。オーストラリア代表チームに帯同し、通訳ならびに滞在中の生活をサポートする中で、言葉の真意を読み取ることや伝え方に気を配る必要性を感じ、自分の英語力を見直す機会となりました。

2019年から1年間、交換留学でフィンランドへ渡りました。非英語圏に挑戦したい、新しい分野を学びたいと思い、教育の本場ゆえに履修していた教職課程の勉強に活かせると考えたからです。実際に現地の学校では授業を観察するだけでなく自らも教壇に立ちました。小学生でも英語力が本当に高く、学ぶ姿勢に私も驚かされました。大学自体は欧州各国からの留学生が多く、彼らの視座が高いと感じるたびに、自分の無知を痛感し、うまく英語で意見発信できないもどかしさを覚えました。また、世界を知らなすぎると思い、留学中一人旅に挑戦し14か国を周りました。多くを吸収でき語学力以外の点でも人間力を鍛えられたと感じています。

帰国後は大学の卒論に取り組むとともにアルバイトとして英会話教室で講師をしました。子どもたちの習い事に対する姿勢は様々ですが、まずは楽しいと思ってもらえるようインタラクティブな授業を心がけました。暁中学・高等学校で教育実習を行った際も、成功体験があれば苦手意識を払拭できるのではと考え、留学先で使った教材や、英会話教室での取り組みを実践しました。予想以上に、前向きな反応を得ることができ、生徒の皆さんからのコメントは今も大切にしています。



私が今伝えたいこと

まずは何事も一生懸命になることです。私自身、勉強はもちろん、行事にも全力で取り組んでいました。後悔するぐらいなら、結果がどうであれ、中途半端にせず一生懸命に取り組むべきだと当時も今も思っています。そんな体験があれば、今後どんなことに対しても頑張れる活力になります。

勉強面では基本を大切にしてください。基本的な問題を解けずして応用は解けません。やり方はそれぞれですが、まずは与えられたものを出来るように、出来ないところがあれば出来るようになるまで、そうやって私は勉強しました。今の仕事にも通じます。各商材の基礎知識を活用して、応用を利かせていく、思えば日々勉強です。

最後に世界へ目を向けてください。先日、久々にマレーシアへ一人旅をしてきましたが、私は今まで35か国を訪れました。英語ができると各地に行けますが、他国では英語ができる当たり前、プラスαが求められます。グローバル人材という言葉が謳われますが、言語は手段にすぎません。言語をはじめとして、ぜひ異文化を学び積極的に経験してください。暁学園で過ごした当時の自分に声をかけるとしたら、「今を大切に一生懸命勉強して、遊んで、喜怒哀楽を経験した分、必ず今後に活かすことができる」と伝えます。皆さんのご活躍を一卒業生として応援しています。

暁中学校・高等学校 (6年制)

アントレプレナーシップはなぜ必要か。



ひろかわ かつや
廣川 克也 氏

一般財団法人SFCフォーラム 事務局長
SFCフォーラムファンド ファンドマネージャー

三井住友銀行(1993-2004)、北海道大学(2004-2005)を経て、慶應義塾大学インキュベーションマネージャーとして着任(2005-2016)、起業支援・起業教育を担当。2012年一般財団法人SFCフォーラムを設立、事務局長就任。2017年SFCフォーラムファンドを設立、ファンドマネージャー就任。2011年よりアメリカ大使館と連携して全国の学生を対象にした起業家セミナーを開催、これまで3,000人以上の学生のサポートを実施。国、地方自治体、企業、大学などと連携した起業・地域活性・人材育成に関するセミナー等を多数手がけている。

VUCA(*)な時代と言われています。社会や価値の変化にルールや組織が追いついておらず、これまでの常識がいとも簡単に覆ったり、将来予測が当てにならないことが頻繁に起こる、このようなことをみなさんもお感じになっているのではないでしょうか。これまで盤石だった大企業であっても、来年さえどうなるか分かりません。実際に、約30年と考えられてきた企業の平均寿命は、最新のデータでは25年ほどに短くなっていると言われています。

一方、今の生徒達は、22世紀の社会を見ることになるでしょう。高等教育終了後、約80年の時を社会人として過ごすことを意味します。単純に考えれば、生涯に3度ほど、所属している企業や団体が変わる可能性があるということです。

このような社会を生きていくために必要な考え方アントレプレナーシップです。日本語では「起業家精神」と訳されます。さまざまな定義がありますが、エッセンスとしては「自立した考え方、社会課題等を自らの手で解決しようとする態度、挑戦を恐れない態度」とまとめることができます。

文字通り、起業家にとって必携の考え方ですが、他の職業にとって不要ということではありません。大企業に勤務する方も、大学生でも研究者でも、公務員であっても、自社の製品をどのように良くしていくのか、未だ解明されていない研究課題は何なのか、福祉や教育、環境など、地域課題をどのように解決していくのかを考える必要があります。すべての人々に必要な考え方であると言えます。



一方、この考え方は、学問や教科として学ぶものではありません。また、校外活動等で自然に身につくというものでもありません。普段の授業とは異なる学び、自分ごととして考え実践する機会、リーダーシップを發揮してチームをまとめる経験、共感を得て人の行動を変えるプレゼンテーションなど、スキルセット(技術)とマインドセット(考え方・態度)の両方を学び、実践していくことで体得していくものです。

2023年度から実施している「起業家精神涵養講座」では、このアントレプレナーシップを体得していただくため、以下のような要領で講義を行なっています。

目的

姿勢	自信	意欲
社会課題に目を向け、 自ら解決策を 考案しようとする 積極的・主体的な姿勢	スキルを 身につけることで 価値を生み出すことが できるという実感	次のステップに 進むための学びの 重要性の理解と、 成長への意欲

講義の内容

- 社会との主体的な関わりを持つ心構えを学ぶもの
- 社会課題を解決するアイディアを考案するための姿勢や発想技術を身につけるもの
- 仲間と協働するためのコミュニケーションスキルを学ぶもの

となっており、大学レベルで行われている講義等をアレンジして実施しています。

この講義を通じて、生徒たちには、「人生で次に起こることを決めるのは私」「それを実現するための戦略を立てるのも私」「調査、仮説検証、交渉、行動するのも私」という、自立した考え方、すなわちアントレプレナーシップを身につけていってほしいと考えています。



(*)VUCAとは

変動性(Volatility)、不確実性(Uncertainty)、複雑性(Complexity)、曖昧性(Ambiguity)の頭文字をとったもの。移り変わりが激しい時代や不確実な要素が多い状況を示す言葉。

四日市大学



四日市大学「環境情報学部」の改革に 文科省の支援が決定!

このたび、四日市大学は「令和5年度大学・高専機能強化支援事業(成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金)」に応募し、採択されました。この事業は「デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成」に向けて、既存学部の理系転換を図る大学等に対して、国が独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構を通じて、安定的で機動的かつ継続的な支援を行うものです。助成は「フェーズ1」から「フェーズ3」までの3層構造になっており、今回採択された「フェーズ1」(3年以内に学部の設置認可を申請といった検討段階への支援)から、「フェーズ2」(施設・設備の整備への支援)、「フェーズ3」(開設から完成年度までの支援)へと移行していきます。

本学は、本事業により環境情報学部を発展的に改組し、入学定員100名の「環境情報工学部(仮称)」を創設する計画です。設置経費として、10億円を超える助成金が充てられ、総経費は20億円規模となり、施設や教員組織を充実させます。

計画では、グリーン・デジタル分野およびそれらの融合領域の人材を育成するため、データサイエンス教育を基盤として、グリーン・デジタル領域の専門的な教育を行います。

理系学部の設置は、本学創立時から期待されるものでしたが、今回の國の方針を受けた助成事業により、実現に向けた第一歩を踏み出します。

採択を受けて、早速「四日市大学新学部設置検討委員会」が組織され、委員長に喜岡涉・学校法人暁学園理事長が就任し、四日市大学の未来図を描くことになりました。

四日市看護医療大学

3年ぶりの大学祭～一大イベントが帰ってきました～

10月28日(土)に大学祭を開催しました。これまで四日市大学と合同で行っていたが、今年度は本学のみで開催することにしました。3年ぶりの開催であり、特に初参加となる臨床検査学科は前例がなく手探りでの準備となりました。その中で、過去の資料を頼りにしながら、実行委員全員が協力しあい、開催に至ることができました。

手洗いや豆つかみ、聴診器体験など子どもも楽しみやすい内容の看護体験と、病

理標本の観察や血管年齢測定、血液像の観察などちょっとびり大人向けの臨床検査体験。専門知識のない方でも本学の学修内容に気軽に触れて楽しんでいただけるよう、学生が企画したイベントです。このほか、地域健康教室、バザーや子ども向けスペースなどの教職員ブース、キッチンカー、bingo大会といった学生、来場者がともに楽しめるイベントを用意しました。久々の開催にもかかわらず幅広い年齢層の方にご来場いただき、特にbingo大会には大変多くの方に参加していただきました。学生一人一人にとって初めてのこと、不慣れなことも多くありましたが、全員一丸となって取り組むことで本学らしい笑顔あふれるにぎやかな大学祭になったと思います。

今回の開催で出てきた反省点などを踏まえ、来年はさらに良い大学祭になることを期待しています。



健康いきいきフェア開催

10月22日(日)トナリエ四日市にて、健康フェスティバル2023「健康いきいきフェア」を開催いたしました。

本イベントは、地域の皆様の健康への関心を高めることを目的として昨年より開催をしており、血管年齢チェックやスキンチェック、顕微鏡体験など様々なブースを用意いたしました。このイベントの企画・運営は学生主体で行われており、日々の学修の成果を発揮する絶好の機会になったかと思います。学生が来場者への対応、説明の際に笑顔を交えながら丁寧に

説明する様子がとても印象的で、よき伝統となるイベントに育つ可能性を感じました。また、来場者からは良好な評価とともに、『どこの大学ですか』など聞かれ、大学にも興味を持っていただく機会となったと思います。



暁小学校

PTA教育講演会



10月5日(木)、本部教育棟オーロラホールにて、鈴鹿英数学院COO(最高執行責任者)の伊藤奈緒様を講師にお迎えし、PTA教育講演会を開催しました。当日は、本校保護者をはじめ、暁幼稚園保護者、各学校・園の教職員、学園職員等、50名を超える参加者の中、「AI時代に必要な本質的な能力とは?」をテーマにご講演いただきました。伊藤講師から、「AIは日本の80%の大学に合格できる知能レベルに達しているが、それでもAIでは代替えできない能力がある。それが、読解力や論理的思考力である。これから時代を生き抜いていく子どもたちにはこれらの力を鍛えていく必要があり、それは「国語力」を育成していくことに他ならない。」と、大学入試共通テストで扱われてきた文字数の増加や国語と他教科との相関関係をエビデンス(科学的根拠)に基づいてご講演いただきました。

また、暁小学校教頭の伊藤より、暁小学校で開講している「言語技術教育」について、目的や内容、実際の授業の様子について報告がありました。

第34回 暁小学校文化祭 ～おかえり文化祭～

10月22日(日)、4年ぶりに文化祭が開催されました。4年ぶりの開催ということで「おかえり文化祭」と銘打ち、音楽会や催し物の他、習字や図工などの作品展示も行いました。また、PTA主催の制服販売を行い、大盛況でした。

今回は、1、3、5、6年生が音楽会で合唱や器楽演奏を披露しました。子どもたちは音楽の授業を中心に行なった歌や楽器の練習を続けてきました。当日は、練習の成果がよく表れたすばらしい発表となりました。

2、4、6年は催し物を行いました。2年の「おもちゃランド」、4年の英語劇「MOMOTARO」、6年の「ハロウィンパーティー」を行いました。3学年とも来場される人のことを考えてしっかりと準備ができ、多くの方々に喜んでいただきました。

4年ぶりの文化祭でしたが、子どもたちや来場者の皆さんから多くの笑顔が見られたことが何よりも素晴らしいかったです。子どもたちが学級や学年の友達と一つの目標に向かって力いっぱい取り組み、達成感を感じられたことは大変意義深く感じています。



暁幼稚園

みんな頑張っていました…

11月4日(土)に、年少組と年中組の公開保育を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染防止のための制限を設けませんでしたので、多くの方々にお越しいただくことができました。

年少組は、日ごろ歌っている歌を聴いてもらったり、自分たちが作ったお弁当を入れるリュックサックを作るところを観てもらいました。年中組は、2学期から習い始めた鍵盤ハーモニカの演奏を聴いてもらったり、保護者の方々にお客さんになってもらってお店屋さんごっこをしたりしました。

子どもたちは、日ごろ自分たちが頑張っている姿をたくさん観てもらおうと張り切っていました。年少組の保護者の方々から、「入園した時は心配ましたが、いつの間にかいいろいろなことが自分でできるようになりました」「なんだかたくましくなってきたような気がします」「会話の中に、お友達の名前がたくさん出てくるようになりました」など、子どもたちの成長を認めていただけるようなお話を聞かせていただくことができました。

これからも、子どもたちの成長を保護者の皆様とともに喜ぶことができますよう見守っていきたいと思います。



アンサンブルコンサート



11月6日(月)、アンサンブルグループ「バルフェ」の皆さんにお越しいただき、きれいな歌声やミュージックベルの音色、鍵盤ハーモニカやエレクトーン、ピアノによる演奏などを聴かせていただきました。小さい学年と大きい学年に分かれ、2回公演で行いました。それぞれの学年に合わせて、「焼き芋グーチーバー」や「アンパンマンのうた」「となりのトトロ」「トルコ行進曲」「星に願いを」「アンダー・ザ・シー」など、子どもたちに身近な曲を選び、趣向を凝らした内容で行っていただきました。年長組の子どもたちには、ミュージックベルの体験コーナーも設けていただき、実際に「星に願いを」の曲に合わせて演奏させていただきました。

進行役をしていただいたバルフェの稻葉先生が、「私たち4人は、とてもなかよしです。ミュージックベルできれいな曲を演奏するためには、4人みんな一緒に力を合わせないとできないんです」と話されたことが

心に残りました。演奏を通して、音楽の楽しさや美しさ、そして心の豊かさを、五感を通して感じることができました。

アンコールでは、小さい組は「さんぽ」、大きい組は「勇気100%」をみんなで元気よく歌いました。

バルフェの皆さんの演奏を、暁幼稚園公式インスタグラム「akatsuki.1946」にて紹介しています。お聴きください。



AKATSUKI.1946

クラブ活動報告

暁高等学校・暁中学校では、クラブ活動が盛んに行われ、どのクラブも様々な大会において健闘しています。全ては掲載できませんが、本年度、特に優秀な成績を収めたクラブを紹介いたします。

体操部男子

【全国高校選抜大会】

- 男子個人総合 6位／種目別 つり輪 5位(西村 尚純)

【東海高校総体】

- 男子団体総合 2位(西村 尚純／野村 龍聖／前田 竜輝／金澤 祐次朗)

- あん馬 2位／平行棒 3位(西村 尚純) ●平行棒 2位(金澤 祐次朗) ●つり輪 3位(前田 竜輝)

【全国高校総体】出場

【国民体育大会】出場

体操部女子

【全国高校選抜大会】

- 女子個人総合 優勝／種目別 段違い平行棒 優勝／ゆか 2位／平均台 3位(岡村 真)

- 女子個人総合 7位／種目別 跳馬 3位(鈴木 望未)

【東海高校総体】

- 女子団体総合 1位(岡村 真／鈴木望未／片岡麻美／金本杏海)

- 個人総合 1位／平均台 1位／段違い平行棒 1位／ゆか 2位／跳馬 3位(岡村 真)

- 個人総合 2位／ゆか 1位／段違い平行棒 2位／跳馬 3位(鈴木 望未)

- 個人総合 3位／平均台 2位(片岡 麻美)

【全国高校総体】

- 団体 3位(岡村 真／鈴木望未／片岡麻美／竜田裕奈)

- 種目別 段違い平行棒 2位／ゆか 3位(岡村 真) ●個人総合 3位／種目別 ゆか 4位(鈴木 望未)

【国民体育大会】

- 総合 8位

【アジア競技大会(中国・広州市)】

- 種目別 平均台 金メダル／個人総合 銀メダル／団体 銀メダル(岡村 真)

バドミントン部男子

【全国高校総体県予選】

- 団体 2位 ●単 3位(中野 駿晟) ●複 2位(水越 悠斗／中野 駿晟)

【東海高校総体】

- 出場 【全国高校総体】 ●複出場(水越 悠斗／中野 駿晟)

【県高校新人大会】

- 単 3位(中野 駿晟) ●複 3位(中野 駿晟／安達 瑞來)

【県高校秋季大会】

- 団体 3位 ●単 3位(中野 駿晟) ●複 3位(中野 駿晟／安達 瑞來)

バドミントン部女子

【全国高校総体】

- 団体 2位 【東海高校総体】 ●ベスト8

【県高校新人大会】

- 複 3位(伊藤 夢菜／奥田 真羽) 【国民体育大会】 ●出場(舛本 菜愛／右江 里菜)

【県高校秋季大会】

- 団体 2位 ●複 3位(伊藤 夢菜／奥田 真羽)

ハンドボール部女子

【県高校総体】

- 2位 【東海高校総体】 ●出場 【県総合選手権大会】 ●3位 【県新人大会】 ●2位

陸上部

【県高校新人大会】

- 男子砲丸投 4位(山田 真也) 【東海新人大会】 ●男子砲丸投げ 5位(山田 真也)

ソフトテニス部男子

【ガーデンカップ】

- 男子の部 5位

硬式テニス部男子

【三重県高等学校テニス選手権大会】

- 団体 6位 【県高校新人大会】 ●団体 6位

硬式テニス部女子

【三重県私立高校テニス大会】

- 団体 優勝 ●個人 優勝(河合 憧子) ●個人 4位(日美 姫乃)

バレーボール部男子

【北勢地区高等学校バレーボール優勝大会】

- 4位

水泳競技

【東海高校総体】

- 出場(丹羽 野々花)

【三重県高等学校対抗水泳競技大会】

- 女子200mバタフライ 1位(丹羽 野々花)

- 女子100mバタフライ 2位(丹羽 野々花)

レスリング

【三重県高等学校総合体育大会】

- レスリング競技 フリースタイル個人対抗戦60kg級 1位(金山 弥礼)

- レスリング競技 グレコローマンスタイル個人対抗戦60kg級 2位(金山 弥礼)

【東海高等学校総合体育大会】

- レスリング競技 フリースタイル60kg級 3位(金山 弥礼)

【全国高校総体】

- 北海道インターハイ フリースタイル60kg級 出場(金山 弥礼)

【全国高校生グレコローマン選手権大会】

- 60kg級 出場(金山 弥礼)

水球**【鹿児島国民体育大会】**

●水球競技 三重県代表(岩本 真姫) ●水球競技 三重県代表(岩本 実姫)

吹奏楽部**【三重県吹奏楽コンクール】** ●高等学校B編成の部 銀賞 ●高等学校S編成の部 優秀賞**中高吹奏楽部****【三重県吹奏楽コンクール】** ●高等学校B編成の部 金賞 ●高等学校S編成の部 優秀賞**合唱部****【NHK全国学校音楽コンクール三重県コンクール】** ●高等学校の部 金賞**【NHK全国学校音楽コンクール東海北陸ブロックコンクール】** ●銅賞**【全日本合唱コンクール三重県大会】** ●金賞 / 全日本合唱連盟理事長賞 【中部合唱コンクール】 ●金賞**競技かるた部****【全国競技かるた桑名大会】** ●B2級 3位(植村 涼寧) 【全国高等学校選手権大会】 ●B級 4位(植村 涼寧)

[小倉百人一首かるた三重県中高生大会] ●高校生の部 優勝(植村 涼寧) / 準優勝(山田 侑佳) / 3位(田中 悠也)

[全国競技かるた大垣大会] ●B級 3位(植村 涼寧) ●C1級 4位(水谷 葉々花)

[小倉百人一首かるた全国高等学校選手権 三重県予選大会] 団体 優勝

[東員百人一首かるた大会] ●東員名人の部 3位(山田 侑佳)

[小倉百人一首交流フェスティバル有段者かるた大会] ●D級 優勝(高橋 茉央) ●C級 準優勝(田中 悠也)

●B級 準優勝(山田 侑佳)

演劇部**【三重県高等学校演劇大会】** ●優秀賞 / 三重県教育委員会賞

[近畿高等学校総合文化祭] ●奨励賞

バトン部**【バトントリミング東海大会】** ●銀賞

[近畿高等学校総合文化祭] ●奨励賞

将棋部**【全国高等学校総合文化祭将棋部門 三重県予選】** ●男子団体 3位(加木 千博) / 奥山 全夢 / 南部 知輝)

●女子個人 4位(越智 真凰子)

【近畿高等学校総合文化祭将棋部門 三重県予選】 ●男子個人B級 4位(松岡 幸希)**硬式テニス部****【三重県中学生春季テニス選手権大会】** ●女子ダブルス 3位(ジョーンズ 池奈シェリー / 伊藤 友瞳)

[U-15全国選抜ジュニア大会 三重県予選] ●女子シングルス 8位(齋木 望愛)

[東海中日ジュニア選手権大会 三重県予選] ●14歳以下女子シングルス 3位(齋木 望愛)

●14歳以下男子ダブルス 4位(渡部 聰介 / 永井 伶)

【三重県私立中学校テニス大会】 ●女子団体 優勝 ●男子団体 優勝

[東海私立中学校テニス大会] ●女子団体 3位

【三重県中学校総合体育大会 テニス大会】 ●女子団体 優勝

●女子ダブルス 準優勝(ジョーンズ 池奈シェリー / 斎木 望愛)

●女子ダブルス 5位(尾崎 空琉 / 川合 瑠子)

【東海地区中学生テニス選手権大会】 ●女子団体 3位**【全国中学生テニス選手権大会】** ●女子団体 ベスト16**【三重県中学校総合体育大会 テニス大会】** ●男子団体 3位

●男子ダブルス 5位(田沢 蒼登 / 鈴木 大雅)

水泳部**【三重県中学校水泳競技大会】**

●男子1500m自由形 3位(岩本 爽甫) ●男子100m自由形 5位(岩本 爽甫)

【三重県中学校年別水泳大会】

●男子2年生50m自由形 2位(岩本 爽甫) ●男子2年生100m自由形 2位(岩本 爽甫)

●男子2年生200m自由形 1位(岩本 爽甫) ●男子2年生50m平泳ぎ 3位(伊藤 陽向大)

●男子2年生100m平泳ぎ 5位(伊藤 陽向大) ●男子1年生50m背泳ぎ 7位(鵜崎 朝光)

●男子総合2年生 5位

体操部**【国民体育大会東海ブロック大会トランボリン三重県選手権大会】** ●女子 3位(駒井 初音)**【三重県中学校総合体育大会体操競技大会】** ●女子団体 2位**中学女子バドミントン部****【全国ジュニアアーティスティック大会 U14・U16】** ●優勝(伊藤 友瞳)**中高吹奏楽部****【三重県吹奏楽コンクール】** ●高等学校B編成の部 金賞 ●高等学校S編成の部 優秀賞**競技かるた部****【小倉百人一首かるた三重県中高生大会】** ●中学生の部 3位(山田 明奈)

[東員百人一首かるた大会] ●有段者Dの部 優勝(山田 明奈)

[小倉百人一首交流フェスティバル有段者かるた大会] ●D級 準優勝(山田 明奈)

合唱部**【NHK全国学校音楽コンクール 三重県コンクール】** ●中学校の部 銅賞**【全日本合唱コンクール 三重県大会】** ●中学校の部 金賞**ESS部****【高円宮杯全日本中学校英語弁論大会】** ●県代表出場(佐藤奏斗)

入学試験 ※詳細は各校HP等参照

四日市大学(全学部共通)

【一般A日程】 出願期間:1/5(金)～1/31(水) 試験日:2/3(土)・2/4(日)

【大学入学共通テスト利用Ⅰ期】 出願期間:1/5(金)～1/31(水) 個別試験なし

【共通テストプラス】 出願期間:1/5(金)～1/31(水) 試験日:2/3(土)・2/4(日)

※その他、一般B・C日程、大学入学共通テスト利用Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ期、クラブ推薦C日程あり。

四日市看護医療大学

【一般選抜前期A日程】 出願期間:12/25(月)～1/17(水) 試験日:1/23(火)

【一般選抜前期B日程】 出願期間:12/25(月)～1/17(水) 試験日:1/25(木)

【一般選抜プラス共通テスト】 出願期間:12/25(月)～1/17(水)

試験日:1/23(火)・1/25(木)

【大学入学共通テスト利用選抜】

●前期日程 出願期間:12/25(月)～2/1(木) 個別試験なし

【育成会奨学生選抜】

●後期日程(看護学科のみ) 出願期間:12/25(月)～1/17(水)

試験日:1/23(火)

※その他、一般選抜後期日程、大学入学共通テスト利用選抜後期日程あり。

暁高等学校

出願期間:12/11(月)～1/9(火) 試験日:1/24(水)

暁中学校・高等学校(高校部)

出願期間:12/8(金)～1/8(月・祝) 試験日:1/26(金)

暁中学校

●帰国生 出願期間:12/4(月)～12/18(月) 試験日:12/23(土)

●前 期 出願期間:12/4(月)～12/26(火) 試験日:1/6(土)

●後 期 出願期間:12/4(月)～12/26(火)・1/5(金)～1/11(木)

試験日:1/13(土)

学校法人 暁 学 園

[学園報 冬号 vol.255]

発行日 / 2023年12月15日

発 行 / 学校法人暁学園

〒512-8538 四日市市萱生町238 TEL 059-337-2345

学園HP / <https://www.akatsuki.ed.jp>



暁学園公式キャラクター
アルバちゃん